

# 令和6年度 第5回 関東地方整備局事業評価監視委員会 審議結果

1. 日 時 令和6年12月23日(月) 15:00~17:15
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館14階「災害対策本部室」
3. 開催方式 対面・Web会議併用
4. 出席者

## [委員長]

久保田 尚 (埼玉大学名誉教授・日本大学客員教授)

## [委員]

朝日 ちさと (東京都立大学都市環境学部都市政策科学科教授)

安相 治 (株式会社JTBパブリッシング デジタルコミュニケーション部長)

小笠原 正豊 (東京電機大学未来科学部建築学科教授)

清水 繁 (東京商工会議所地域振興部長)

鈴木 崇之 (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授)

竹内 智子 (千葉大学大学院園芸学研究院准教授)

横山 勝英 (東京都立大学都市環境学部都市基盤環境学科教授)

若井 明彦 (群馬大学大学院理工学府環境創生部門教授)

(敬称略、五十音順)

## [特別委員]

小根山 裕之 (東日本高速道路株式会社事業評価監視委員会委員)

## [関東地方整備局]

局長 岩崎、副局長 衛藤、副局長 増田、河川部長 矢崎、道路部長 野坂、環境調整官 森山

## [東日本高速道路株式会社]

関東支社長 松坂、関東支社建設事業部長 宮野

## 5. 審議結果

### 1) 再評価

- ・対応方針（原案）の審議（全3件）
- ・事務局が説明した再評価対象事業3件は、対応方針（原案）の通り了承された。

#### <評価対象事業>

事業区分	事業名	事業主体	対応方針 (原案)	審議 結果	委員からの主な意見
道路	東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社	継続	了承	<ul style="list-style-type: none"><li>・土砂運搬計画については当初からしっかり計画すべきではないか。</li><li>・事業費増により費用の一部を負担する地方自治体の事業にも影響があるのではないか。</li><li>・スラグ材の活用については当初から見込むことができるのではないか。</li></ul>
道路	一般国道17号 高松立体	関東地方整備局	継続	了承	<ul style="list-style-type: none"><li>・施工条件の変更に伴い発生するコスト等としなかった場合の損失等のバランスを総合的に勘案し判断しながら事業を進めていただきたい。</li></ul>
道路	一般国道52号 上石田改良	関東地方整備局	継続	了承	<ul style="list-style-type: none"><li>・特になし。</li></ul>

#### [その他の意見]

- ・建設発生土の利用調整が、より進むことに期待したい。

## 2) 事後評価

- ・対応方針（案）の審議（全1件）
- ・事務局が説明した事後評価対象事業1件は、対応方針（案）の通り了承された。

### <評価対象事業>

事業区分	事業名	事業主体	対応方針（案）	審議結果	委員からの主な意見
道路	一般国道357号 湾岸千葉地区改良	関東地方整備局	今後の事業評価の必要性：なし 改善措置の必要性：なし	了承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効果や上部空間の利活用だけでなく、事故減少なども市民への効果が大きいと思うので、積極的にPRを実施するとよい。</li> <li>・完成後に見えなくなる部分などは、事業実施段階での現場見学などでアピールしていくことも必要</li> </ul>

## 3) 報告

以下の審議結果について報告を行った。

事業区分	再評価/事後評価	事業名
河川	再評価	多摩川総合水系環境整備事業
河川	再評価	利根川総合水系環境整備事業（霞ヶ浦環境整備）
河川	事後評価	江戸川特定構造物改築事業（行徳可動堰改築）